

2017年3月期  
(FY2016)  
連結決算報告

---



大幸薬品

2017年5月  
大幸薬品株式会社



- 感染管理事業 : 大幅伸長
- 医薬品事業 : 減収
- 営業利益 : 対前期比14%増
- 当期純利益 : 対前期比24%増
- 増配 : 特別配当5円

# 連結經營成績

# 連結経営成績サマリー

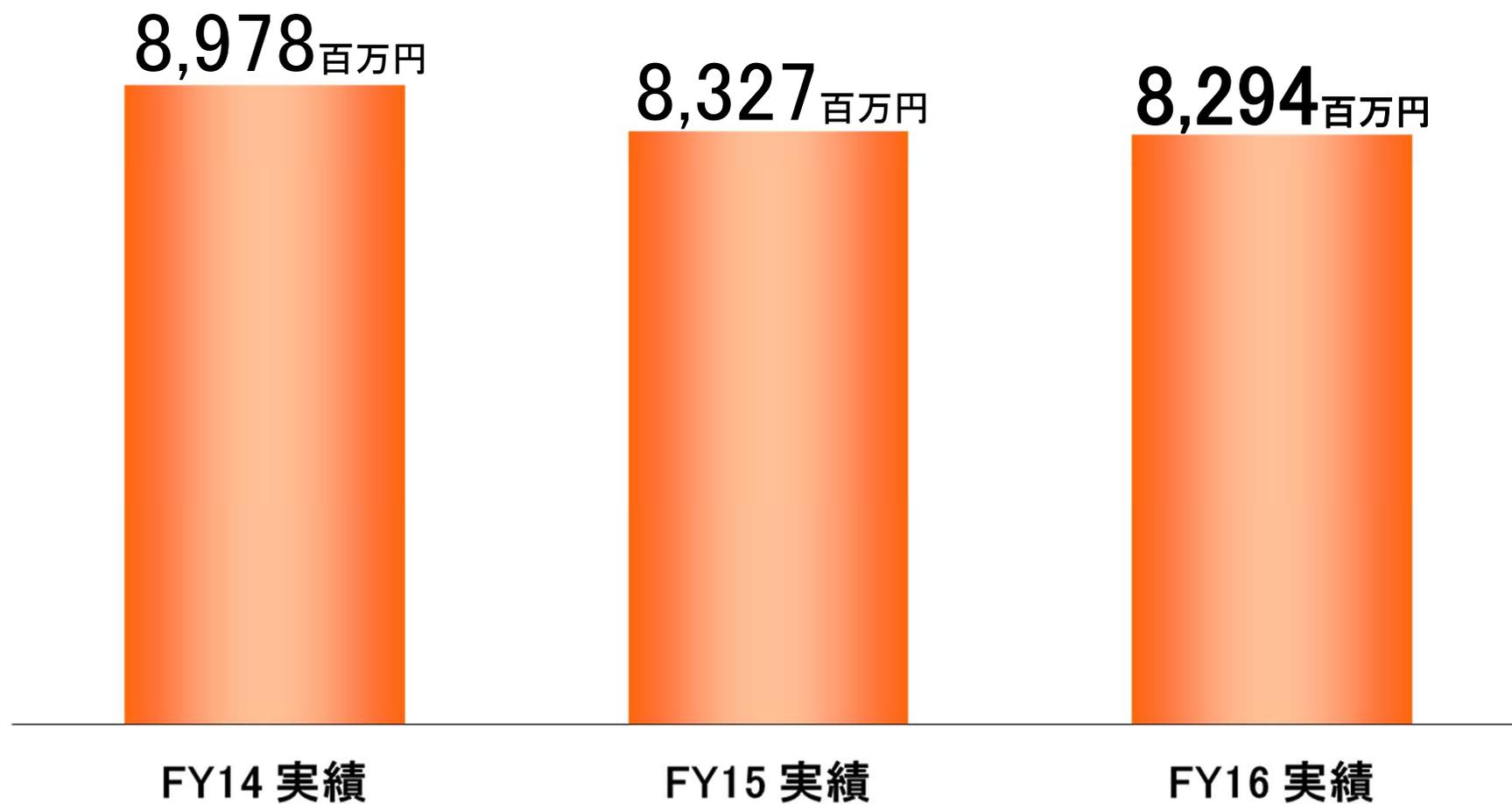
- 医薬品事業：国内、海外共に売上高対前期比減
- 感染管理事業：一般用、業務用共に売上高対前期比増
- 販売費及び一般管理費減少により利益増加

単位：百万円

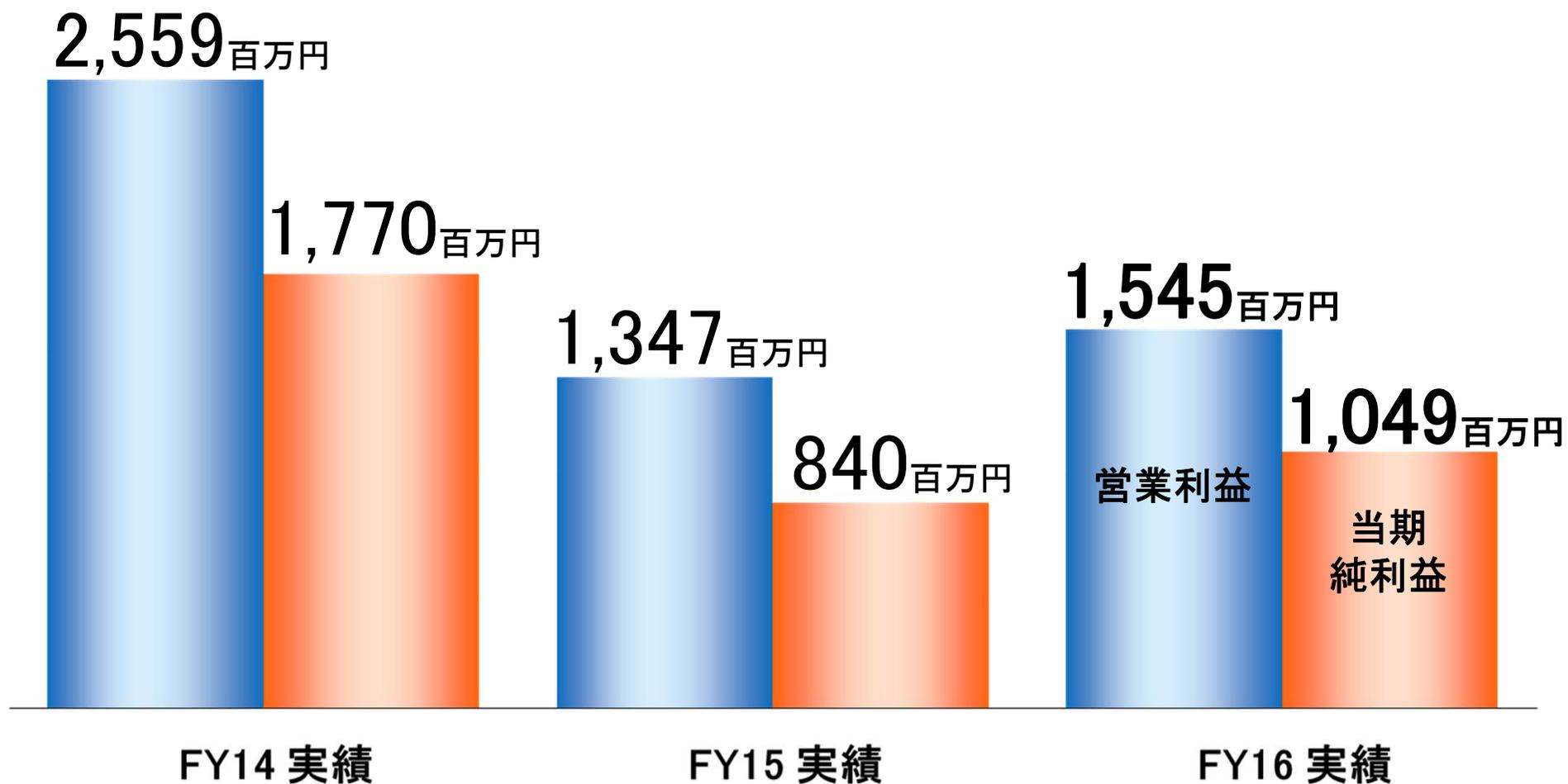
	FY15 実績	FY16 実績	増減	増減率	増減要因等
売上高	8,327	8,294	△32	△0.4%	医薬品)対前期比1,037百万円減 感染管理)対前期比1,014百万円増
売上原価(※) (売上高比率)	2,588 (31.1%)	2,723 (32.8%)	135	5.2%	
売上総利益 (売上高比率)	5,739 (68.9%)	5,570 (67.2%)	△168 (△1.7P)	△2.9%	主に円高影響により粗利減少
販売費及び 一般管理費	4,391	4,025	△365	△8.3%	販売費の減少等
営業利益 (売上高比率)	1,347 (16.2%)	1,545 (18.6%)	197	14.7%	
経常利益 (売上高比率)	1,307 (15.7%)	1,407 (17.0%)	100	7.7%	為替差益42百万円計上 未稼働設備関連費用175百万円増加
当期純利益 (売上高比率)	840 (10.1%)	1,049 (12.7%)	209	24.9%	補助金収入101百万円計上 FY15:工場移転費用189百万円計上

ROE	6.6%	7.4%
EPS(円)	65.23	76.45

(※) 返品調整引当金計上後の売上原価



# 連結営業利益・当期純利益推移



# 販売費及び一般管理費

## ▶ 広告宣伝費の減少等により対前期比減

単位：百万円

	FY15 実績	売上高 比率	FY16 実績	売上高 比率	増減	増減率	増減要因等
販売費	1,954	23.5%	1,543	18.6%	△410	△21.0%	
広告宣伝費	1,106	13.3%	816	9.8%	△289	△26.2%	医薬品)174百万円減 感染管理)108百万円減
販売促進費	630	7.6%	561	6.8%	△68	△10.8%	
運送費	217	2.6%	165	2.0%	△52	△24.0%	
人件費	1,256	15.1%	1,391	16.8%	135	10.8%	業績連動賞与計上
その他経費	1,180	14.2%	1,090	13.1%	△90	△7.7%	
研究開発費	358	4.3%	276	3.3%	△82	△23.0%	新工場の製造試験費用減少
支払手数料	212	2.6%	193	2.3%	△18	△8.9%	
計	4,391	52.7%	4,025	48.5%	△365	△8.3%	

# 連結財政状態

▶ 当期純利益計上、アース製薬との資本業務提携等により純資産が増加

単位:百万円

	FY15 期末	FY16 期末	増減	増減率	増減要因等
流動資産	7,432	10,275	2,842	38.2%	
現金及び預金	2,996	6,803	3,806	127.0%	
売上債権	2,196	1,820	△375	△17.1%	
たな卸資産	1,757	1,385	△372	△22.4%	
固定資産	8,874	8,513	△361	△4.1%	
資産合計	16,307	18,788	2,481	15.2%	
流動負債	2,007	2,236	229	11.4%	
仕入債務	239	302	63	26.5%	
固定負債	1,159	1,167	7	0.7%	
純資産	13,139	15,384	2,244	17.1%	当期純利益計上、自己株式処分等
負債純資産合計	16,307	18,788	2,481	15.2%	

自己資本比率	80.1%	81.7%
ROA(※)	7.5%	8.0%

(※) ROA=経常利益/総資産

# 連結キャッシュ・フロー状況

## ➤ 営業CF増加、自己株式処分等によりキャッシュ残高が増加

単位: 百万円

	FY15 実績	FY16 実績	主な要因
営業CF	377	2,697	EBITDA 1,990百万円 未払又は未収消費税等の増減額 501百万円 たな卸資産の減少 372百万円
投資CF	△2,635	△72	FY15: 新工場建設投資 △3,506百万円
財務CF	△135	1,249	自己株式処分による収入 (アース製薬との資本業務提携) 1,214百万円
現金・同等物換算差額	△47	△68	
キャッシュ増減(※1)	△2,441	3,806	
キャッシュ期末残高	2,996	6,803	
EBITDA(※2)	1,698	1,990	営業利益 1,545百万円 減価償却費 444百万円

(※1) キャッシュ増減

= 営業CF + 投資CF + 財務CF + 現金・同等物換算差額

(※2) EBITDA

= 営業利益 + 減価償却費

# セグメント情報

# セグメント別事業概況(連結損益サマリー)

- 医薬品事業: 減収減益(販売費減少等により利益率は改善)
- 感染管理事業: 増収増益(売上高伸長等により利益率は大幅改善)

単位: 百万円

	売上高			営業利益			
	FY15 実績	FY16 実績	増減率	FY15 実績	利益率	FY16 実績	利益率
医薬品事業	6,081	5,044	△17.1%	2,240	36.8%	1,944	38.5%
感染管理事業	2,222	3,236	45.6%	202	9.1%	803	24.8%
その他事業	23	14	△39.1%	△37	-	△17	-
全社(※)	-	-	-	△1,058	-	△1,185	-
連結合計	8,327	8,294	△0.4%	1,347	16.2%	1,545	18.6%

(※) 全社に係るコスト(主に管理部門コスト)

# セグメント別事業概況(医薬品事業/国内)

- 止瀉薬市場の縮小傾向を背景、期首の流通在庫が高水準
- 競合他社製品の台頭、樋屋奇応丸の販売契約終了等の影響から減収



正露丸



セイロガン糖衣A

(※) その他医薬品



ピシヤット錠

## 製品カテゴリー別売上高

単位: 百万円

	FY15 実績	FY16 実績	増減	増減率
正露丸	1,895	1,594	△300	△15.8%
セイロガン糖衣A	1,990	1,813	△176	△8.9%
その他(※)	170	44	△126	△74.0%
計	4,056	3,453	△603	△14.9%

(※) 整腸薬『ラッパ整腸薬BF』、止瀉薬『ピシヤット錠』等

## 当社の国内止瀉薬市場シェア

出所: (株)インテージ

店頭小売価格ベース	FY15 実績	FY16 実績	増減
市場シェア	49.4%	46.8%	△2.6P

# セグメント別事業概況(医薬品事業/海外)

- 中国市場: ライセンス更新後の生産準備に時間を要し出荷減少(※1)
- 香港市場: 円高影響により減収

## 地域別売上高

単位: 百万円

	FY15 実績	FY16 実績	増減	増減率
中国	800	509	△290	△36.3%
香港	972	881	△90	△9.3%
台湾	216	167	△49	△22.8%
その他(※2)	34	32	△2	△7.5%
計	2,024	1,591	△433	△21.4%



正露丸



セイロガン糖衣A

(※1) 中国市場では5年毎に輸出に必要なライセンスの更新が発生

(※2) その他の対象エリア:

米国、カナダ、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム

# セグメント別事業概況(感染管理事業)

- 期首の流通在庫が低水準、インフルエンザが早期に流行開始
- 店頭プロモーションの早期展開、ブランド強化施策が奏功



クレベリン×ベアブリック



クレベリンゲル

クレベリンスプレー



クレベリン  
パワーセイバー  
ペンタイプ



クレベリンLED  
カートリッジ



**DENSO**  
車両用クレベリン



クレベリン発生機  
リスパス NEO

## 製品カテゴリー別売上高

単位:百万円

	FY15 実績	FY16 実績	増減	増減率
ゲル剤	1,702	2,603	901	52.9%
液剤	198	343	144	72.7%
クレベリン発生機(※)	320	288	△31	△9.8%
計	2,222	3,236	1,014	45.6%

(※) 低濃度二酸化塩素ガス発生装置、クレベリンLED

## 対象顧客別売上高

単位:百万円

	FY15 実績	構成比	FY16 実績	構成比	増減	増減率
一般用	1,492	67.1%	2,405	74.3%	912	61.2%
業務用	730	32.9%	831	25.7%	101	13.8%
計	2,222	100.0%	3,236	100.0%	1,014	45.6%

# 当期販売開始したアライアンス製品

大幸薬品

他社等

企画・開発・営業  
マーケティング等の連携

メディコムトイ  
(ベアブリック)

アース製薬

ジョンソン  
トレーディング

電化製品メーカー



クレベリン×ベアブリック

クレベリン  
トイレの消臭除菌剤

ジョイペット×クレベリン  
ペットまわりの除菌・消臭  
ゲル・スプレー

クレベリンLED搭載  
家電製品

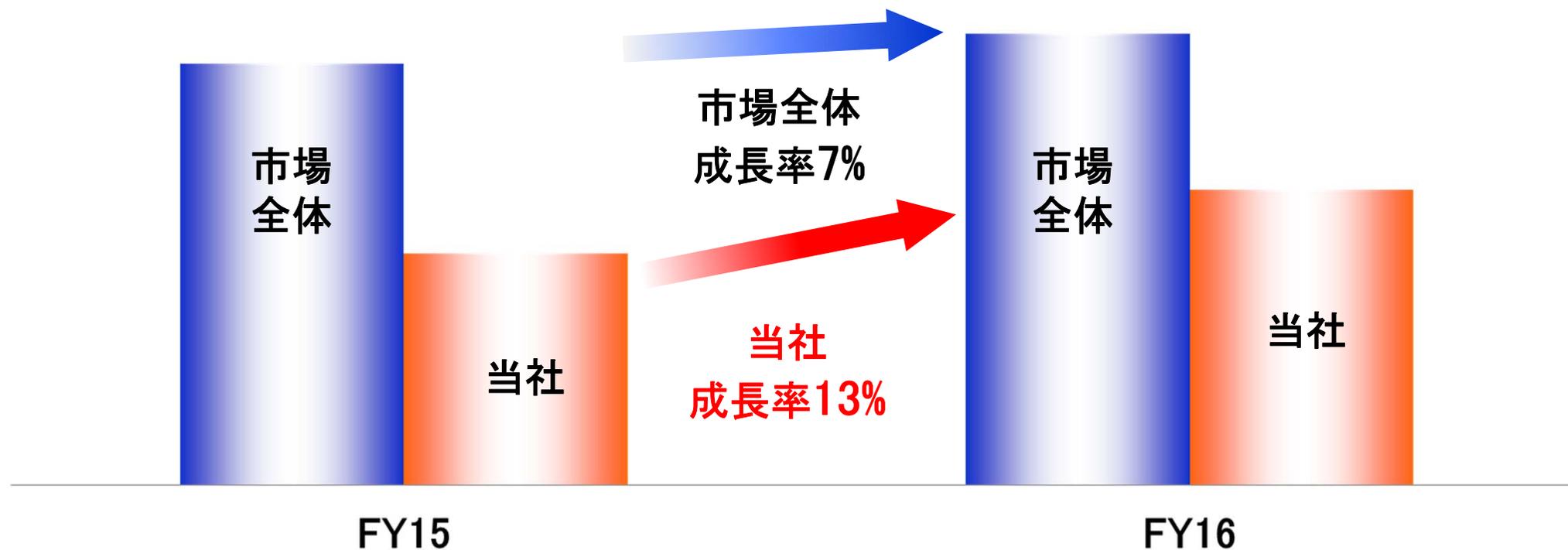
売上貢献  
(売上高263百万円)

クレベリンブランド強化  
認知率49.9%(+5.5P)

# 店頭販売動向

➤市場全体の成長率7%に対し、当社成長率13%

■市場全体、当社製品の店頭販売の動向



出所：(株)インテージ

# セグメント別事業概況(その他事業)

➤ 木酢液を配合した入浴液、園芸用木酢液等を製造販売



木酢入浴液



木酢液

## 製品売上高

単位：百万円

	FY15 実績	FY16 実績	増減	増減率
木酢製品等	23	14	△9	△39.1%

# 通期業績予想

# 通期業績予想

## ➤売上高及び営業利益増加

単位：百万円

	FY16 実績	FY17 予想	増減	増減率	増減要因等
売上高	8,294	8,700	405	4.9%	想定為替レート:1ドル110円
医薬品	5,044	5,158	114	2.3%	国内)「正露丸クイックC」販売開始等 海外)減少見込
感染管理	3,236	3,523	286	8.9%	一般用、業務用共に増加
その他事業	14	18	3	26.1%	
売上総利益 (売上高比率)	5,570 (67.2%)	5,941 (68.3%)	370 (+1.1P)	6.7%	
販売費及び 一般管理費	4,025	4,390	365	9.1%	
営業利益 (売上高比率)	1,545 (18.6%)	1,550 (17.8%)	5	0.4%	
経常利益 (売上高比率)	1,407 (17.0%)	1,300 (14.9%)	△107	△7.6%	
当期純利益 (売上高比率)	1,049 (12.7%)	900 (10.3%)	△149	△14.2%	FY16:補助金収入101百万円計上

# 通期業績予想(販売費及び一般管理費)

## ▶「正露丸クイックC」等のブランド強化を図り販売費増加

単位:百万円

	FY16 実績	売上高 比率	FY17 予想	売上高 比率	増減	増減率	増減要因等
販売費	1,543	18.6%	1,896	21.8%	352	22.9%	
広告宣伝費	816	9.8%	962	11.1%	145	17.8%	医薬品) 新製品等に係る販売費を増加
販売促進費	561	6.8%	753	8.7%	191	34.1%	
運送費	165	2.0%	181	2.1%	15	9.6%	
人件費	1,391	16.8%	1,312	15.1%	△78	△5.7%	
その他経費	1,090	13.1%	1,181	13.6%	91	8.4%	新製品「正露丸クイックC」
研究開発費	276	3.3%	301	3.5%	24	9.0%	
支払手数料	193	2.3%	237	2.7%	43	22.3%	
計	4,025	48.5%	4,390	50.5%	365	9.1%	





# 大幸薬品

## ＜将来情報に関する注意事項＞

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証するものではありません。